

令和7年度 HAPPY☆CYCLE プロジェクト

—— 活動の軌跡 ——



☆ 経営者・人事労務担当者向け企業見学会

～令和時代のモデル企業が実践する「誰もが働きやすい職場づくり」の秘訣を公開～

☆ 女性活躍推進アドバイザー派遣事業

☆ ロールモデル交流会

☆ ポータルサイト「Be Mie」公開開始！

☆ トップの熱い思いの本気宣言

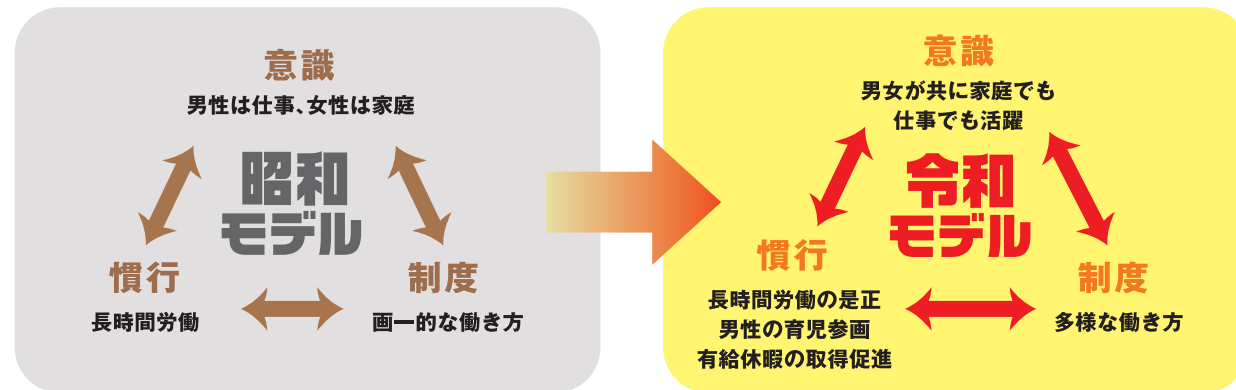
☆ ジェンダーギャップ解消フォーラム

編集・作成 三重県

作成 / 令和8年3月

HAPPY☆CYCLE プロジェクト とは？

HAPPY☆CYCLE とは、ジェンダーギャップを解消し、女性も男性も働きやすく活躍できる職場環境づくりに向け、「意識・制度・慣行」が変わることで、個人・企業・社会の成長へとつながる好循環を指す言葉として、令和6年度からプロジェクト名となりました。「男性だから」「女性だから」といった性別による役割分担にとらわれず、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の社会・職場環境づくりに向けて、「HAPPY☆CYCLE プロジェクト」を進めています。



トップの熱い思いの本気宣言

「令和モデル社会」の実現に向け、企業・団体・自治体のトップが、「熱い思い」をもって本気で取り組んでいるということを見える化、発信するため、「トップの熱い思いの本気宣言」（通称「熱本気（アツマジ）宣言」）の募集を行いました。

これは、「令和モデル」の社会・職場環境づくりに向け、キーワードとなる「意識・慣行・制度」の3つに加え、特に注力したい独自の内容について、「本気で取り組んでいる」というトップの熱い思いを、ポスター風の「宣言書」にさせていただくというものです。

令和6年から引き続き実施しており、令和7年度末時点で、県内の全市町長を含む、計73人のトップにご参画いただきました。



三重県知事の「熱本気宣言」



◀熱本気宣言の詳細はこちら

経営者・人事労務担当者向け企業見学会

～令和時代のモデル企業が実践する「誰もが働きやすい職場づくり」の秘訣を公開～

誰もが家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の職場環境づくりのため、企業等のトップ層や人事労務担当者を対象に、企業見学会とワークショップを実施しました。

講師 社会保険労務士 高原 祥子さん
「今日から始める Mirai カンパニーづくり」



開催日 令和7年10月20日(月)
開催場所 エイバックス株式会社 桑名先進工場(桑名市)
業種 製造業
概要 ・従業員数約500人のうち46%が女性
・女性の若手技術者や管理職が活躍中
・女性をはじめ誰もが働きやすい工場づくり



開催日 令和7年11月28日(金)
開催場所 株式会社四日市事務機センター(四日市市)
業種 ICT・IoTソリューション、サイバーセキュリティ構築、オフィスリノベーション
概要 ・DX化による在宅ワークなど、多様で柔軟な働き方
・チームと家族の満足度向上を推進
・「楽しい」オフィス空間の提供



開催日 令和7年12月18日(木)
開催場所 紙小津産業株式会社(松阪市)
業種 包装資材商社、デザイン、印刷業
概要 ・「挑戦と成長」をスローガンに若手に挑戦の機会を
・担当業務の枠を超えたプロジェクト
・ライフステージに応じたキャリアチェンジ

女性活躍推進アドバイザー派遣

企業・団体に女性活躍推進アドバイザーを派遣し、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）に基づく一般事業主行動計画の策定・届出を支援しました。

令和7年度 策定企業・団体数 **10社**



ロールモデル交流会

「管理職として活躍している女性の経験談を聞いて、自身のキャリアの参考にしたい」といった声をうけ、働く女性のキャリアの継続とキャリアアップ支援のため、県内で活躍する女性リーダー（ロールモデル）との交流会を行いました。



理系職種として働く女性の交流会

開催日 令和7年9月25日(木) **場所** ユマニテックプラザ(四日市市)
登壇者 深谷 百合子さん(合同会社グーウェン 代表)

ライフステージの変化と働き方に関するオンライン交流会

開催日 令和7年11月13日(木)
登壇者 北伊勢上野信用金庫 人事部 太田有香さん／白子支店 伊藤美里さん

交流会 & 意見交換会

開催日 令和7年12月8日(月) **場所** 三重県教育文化会館(津市)※オンライン配信有
登壇者 麓 幸子さん 作家・ジャーナリスト・日経Woman編集長(2006年～2011年)
 生駒 幸さん エイベックス株式会社 品質グループGM(グループマネージャー)
 小島 見美さん 株式会社伊勢福 神路屋 店長 兼 灯りの店 店長
 坂 智子さん 本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所 モジュールマネージャー

プログラム

- 1 麓幸子さんによる講演「働きがいと私らしさを見つけるヒント」
- 2 三重県内企業の管理職女性(ロールモデル)と麓さんとのトーク
- 3 参加者と登壇者による意見交換会

三重県知事も参加



ポータルサイト「BeMie」公開開始！

実施中の県の取組や、県内で活躍している女性、について
 分かりやすく情報発信するため、ダイバーシティ社会推進課が運営する
 公式サイト「Be Mie」を開設しました！

三重で自分らしく働くための Web メディア



<https://bemie.pref.mie.lg.jp/>



「男性は仕事」、「女性は家庭」の昭和モデルから「誰もが希望に応じて家庭でも仕事でも活躍できる」令和モデル社会の実現に向けて、サイトでは、主に次の3つについて情報発信をし、令和モデル社会の実現に向けて、県内全体で取組の推進を図っていきます。

- 1 三重県主催の企業・団体向けのセミナーやワークショップ等
- 2 県内で自分らしく働き活躍している女性(ロールモデル)
- 3 働きやすい職場環境づくりに取り組む企業

最新情報をチェック！

Instagramでも情報発信中！
@be.mie.official



ジェンダーギャップ解消フォーラム

開催日 令和8年1月22日(木) 場 所 ホテル津センターパレス 5階※オンライン配信あり

知事挨拶

三重県は全国的に経済分野の男女の格差（ジェンダーギャップ）が大きく、格差の解消に向けて「無意識の思い込みの打破」「働き方の変革」「仕事と家庭の両立支援」の3本柱で取り組んでいます。本フォーラムで共有された先進事例等の知見を活かし、固定的な役割分担を見直すことで、行政と民間が連携して女性が働きやすい環境づくりとジェンダーギャップ解消を加速させていきます。

講演「ジェンダーギャップ解消に向けて～今後の取組の方向性について～」

株式会社 Will Lab 代表取締役 小安 美和さん

三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略（仮称）検討会議 委員。日本経済新聞社入社後、リクルート等企業での経験を経て17年3月株式会社 Will Lab 設立。ジェンダーギャップ解消に向けて、兵庫県豊岡市等複数の自治体で企業経営者の意識変革、女性のリーダー育成に取り組んでいる。内閣官房「地域働き方・職場改革等推進会議」構成員。NHK「あさイチ」「日曜討論」「クローズアップ現代」などメディア出演も多数。共著に「若者・女性の流出問題に取り組むー7万4000人が暮らす小さな行政の組織改革」(生産性出版)がある。



人口減少と女性の流出を防ぐには、根深い「性別役割分担意識」の刷新が不可欠であり、現状の可視化や、ネットワーク構築などのステップを通じた地域変革が求められると指摘されました。三重県には変革の核となるリーダーが多数存在しており、その強みを活かして行政と民間が一体となった独自の「男性も、女性も、働きやすく、働きがいをもって働けるみえモデル」を構築することが、次世代に選ばれる地域づくりの鍵になるとお話しいただきました。

ジェンダーギャップ解消に向けた企業の実践の紹介

「正社員で続けてほしい！」～短時間正社員制度の導入～

● あんしん介護株式会社(亀山市) ● 角仙合同株式会社(伊勢市)

子育て世代が中心の職場で、勤務日数を減らす正社員制度を導入。不公平感を解消し、個人の主体性や地域活性化に繋がれたとお話しいただきました。

人材難に対応すべく短時間正社員制を導入し、チーム化で知恵を共有し、伝統を守りつつ時代の変化を取り入れ、ライフステージに合わせて輝ける、持続可能な企業文化の構築を目指しているとお話しいただきました。

「製造部門で初の女性管理職！～製造業界での女性の働き方について～」

本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所 モジュールマネージャー 坂 智子さん

製造現場における女性活躍の推進課題についてお話しいただきました。

現場に根強く残る課題の具体例として、上司が良かれと思うで行う「配慮」が、女性側には「1人の部下ではなく「母親」として見られている」という疎外感やキャリアの停滞として受け止められているケースについてご紹介いただきました。また、ロールモデルの不在により、女性が「男性と同じように振る舞わなければならない」と思い込み、挑戦に消極的になる弊害や、自身の経験から、男性リーダーの模倣ではなく、自身の強みや育児経験を活かせる「支援型リーダー(サーバントリーダー)」の重要性について指摘されました。

性別に関わらず、異質な感性を持つリーダーを組織として受け入れ、画一的な成功モデルを押し付けないことが、企業の価値向上と次世代に選ばれる職場づくりに繋がると締めくくられました。

トップの熱い思いの本気宣言動画上映

トップの熱い思いの本気宣言。通称「熱本気(アツマジ)宣言!!」
「令和モデル」の社会・職場環境づくりに向けて、企業・団体・自治体のトップの「熱い思い(本気)」をポスター風の宣言書にして「見える化」し、動画にして紹介しました。



◀熱本気宣言の詳細はこちら



パネルトーク「人口減少時代に考える！企業と地域の成長について」

固定的な役割分担意識の打破と環境整備として、性別による役割分担や「事務や雑務、サポート役は女性」という風土をどう乗り越えるか、具体的なアプローチについてトークが行われました。



コーディネーター

株式会社 Will Lab 代表取締役 小安 美和さん

各地域の優れた要素を組み合わせ、三重県らしい独自の解決策である「男性も、女性も、働きやすく、働きがいをもって働けるみえモデル」を構築していく必要があるのではないのでしょうか。答えを一つに絞るのではなく、行政と民間が対話を重ねながら一歩ずつ改革を進めていく必要があります。

コメンテーター

三重県知事 一見 勝之

トップ自らが「隼より始めよ」の精神で、身の回りのことから実践し、背中を見せることが重要です。また、性別に関わらず多様なロールモデルを持つことや、「本音と建前」をなくし言行一致で取り組む姿勢が、行政・企業双方に求められます。



パネリスト

本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所
モジュールマネージャー 坂 智子さん

かつて根強く残っていた「事務や雑務は女性がするもの」という慣習を打破するため、一般事務職という役割自体を廃止。自分のことは自分で行うよう仕組み化し、リーダーが率先して実行することで、女性が価値を生む仕事に集中できる風土へと切り替わっていきました。

あんしん介護株式会社 代表取締役 千賀 理さん

女性が多い介護業界においても、管理職は男性、現場管理は女性という無意識の役割分担があります。男性従業員への意識啓発を含め、業界特有の偏見を少しずつ解消していく必要があります。

角仙合同株式会社 取締役 村田 綾子さん

老舗企業ゆえに「営業は男性、事務は女性」という意識が残る中、事務職の女性に営業活動を促す難しさを経験しました。現在はDX化を進め、データ活用により営業のハードルを下げることで、職域の垣根を越えた挑戦を支援しています。